飯田市
発行所 長野県飯田市公民館
編集人 飯田市公民館新聞委員会
印刷所 信州印刷KK 松本市市上町353

昭和三十六年に完成
竜丘地籍は県営工事

西部丘陵地帯の一、〇三五町歩の水田や畑地の灌漑として天竜川の水を潤し農業経営の安定に役立つ百姓待望の竜西一貫水路が昭和三十年国営事業として着手して以来十年今年度は予算一億万円があげられた。これによって工事も本格化し、昭和三十六年竜丘以南の県営工事と併せて完工の見透がつき、水路通過の現地説明などが行なわれた。

軌道にのる 龍西一貫水路

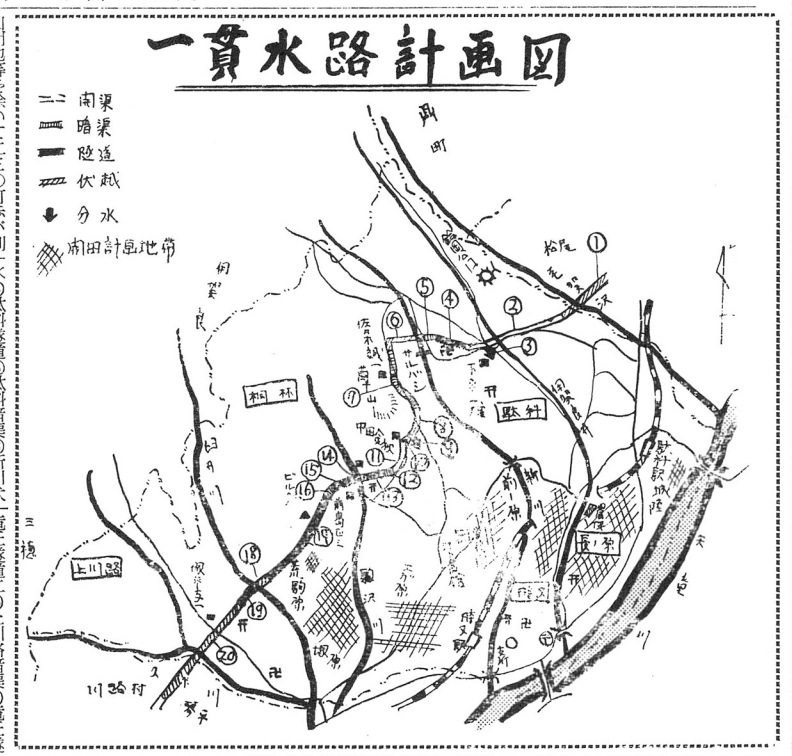
竜西一貫水路は農林省竜西国営灌漑排水事業として南向発電所の頭首より毛賀沢のサイホンまでの十八キロと県営事業として駄科開渠から川路初川までの六キロ五〇〇メートルで、あって、受益面積一、三五町、組合員二八〇〇名、総工費国営分七億五十万県営分一億五千万であるが、三十二年度までに三億一千万で山吹田沢川付近まで完工した。今年度は各方面の強力な陳情により一億の予算を獲得する事が出来半分完成する事になった従ってあと三ケ年間に国営分を完成すると同時に駄科以南の県営分も三四年に着工し三六年の完成の見透しが強くなって来た。

三月一日水路通過地点の現地説明が、地元各関係者を集めて行なわれた。それによると竜丘地籍の大部分が暗渠、隧道、伏越で通り開渠の部分は（一・四×一・六メートル）少なく後方山岳地帯を通過するため、新井原、遠見原、前林山間地等を除いて二三〇町歩が利益を受ける事になる。

トッパン説明

①毛賀沢伏越②駄科開渠③大井分水④駄科隧道⑤駄科暗渠⑥新川伏越⑦桐林暗渠⑧桐林開渠⑨太郎井分水⑩桐林隧道⑪桐林開渠二⑫桐林暗渠二⑬竜丘隧道⑭駒沢伏越⑮竜丘隧道二⑯上川路暗渠⑰竜丘隧道三⑱臼井伏越⑲竜丘隧道四⑳久米川伏越

【写真は現地説明を聞く人たち】



田中精一氏来飯
中央道建設を語る

中央道建設案の講演会が去る二月二十一日市役所支所に於て聴衆者二百余名のもとに開かれた。綜合国土開発計画は日本の全国に及す綜合計画であるが、第一期工事として最も資源が多く効果の有る東京―神戸間の多年に亘って実踏調査を行った詳細なる図表と調査資料に基ずき説明された。中央道の総工費は一千四百三十億で、道路巾は二三米で、現在名古屋―神戸間を建設中で、名古屋―東京間は調査費が予算に計上され、三十三年度より地質調査が始る、又第一期工事の建設予算の捻出方法として「国民の楽しみ貯金一人一日一円」案を立案した結果、この計画に共鳴せられている全国各地の協力者が生れ、現在貯金高は三十六億に達している。

◎中央道国土開発高速自動車道路とは

1、眠れる資源の開発と新たなる産業の勃興、（イ）森林資源…大井川の上流、赤石山系だけでも千古不斧の大森林が密生し、蓄積量は一億余万石と称せられているから中央道の開発にて搬出が可能となり、立木一石当り一千五百円で換算すれば、一千五百億の資源が国の経済に役立つ。（ロ）地下資源…白根、赤石、恵那の山系には石灰石だけでも十数億屯、その他金銅、マンガン、蛇紋岩等の鉱物が埋蔵されている。（ハ）水力資源…天竜、大井、富士川の水系だけでも調査済工事未着手ダムにて開発し得る水力電気は百万キロワットを超る電源がある。（ニ）観光資源…富士五湖を始め、麗峰富士を望む中央道の沿線で南アルプスを眺望し、幾多の飛瀑、湖沼溪流に富む赤石山系の未踏地に、新たなる観光地が出現す。

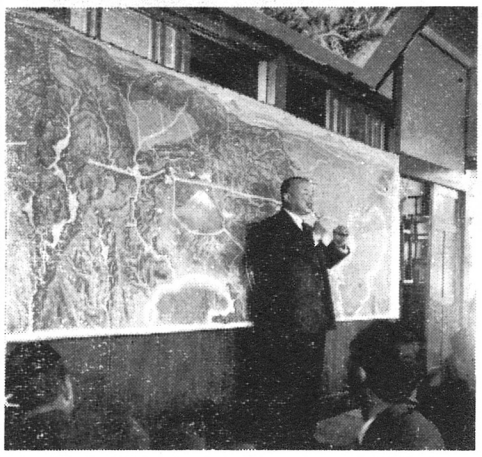
2、国際文化都市や住宅好適地。（ホ）富士五湖地帯…東京より一時間内外となる富士を眺望する観光地として文化施設が建設され湖の湧水にて農耕地を一坪も潰さずに二百数十万の国際文化都市が生れる。

3、精密工業好適地
富士五湖、南信州、岐阜県、東濃西濃、琵琶湖地帯は塩風の吹かない空気が清く湿度が適当で砂埃のない土地であるから立地条件はスイス以上の好適地となる。

4、酪農興業の好適地
富士山周辺、南信州、岐阜県、東濃地方の草原地帯に酪農事業が発展し牛乳、製肉、缶詰等の酪農興業が発展する。

5、新たなる産業の発展
木材関係、電源事業、石灰石を用うる化学産業、薪炭、果樹園、その他の産業が沿線に発展し、日本の経済の飛躍に及す影響は甚大なる事は容易に想像される。

6、輸送の迅速化と六大都市の連絡、東京―神戸間を直線に四%の勾配にて、四百八〇粁の最短距離と最短時間にて結び、東京、横浜名古屋、京都、大阪、神戸を直結して高速自動車にて四時間半にて輸送し得る劃期的なスピードアップを計る願いである。



【説明する田中精一氏】

苦境に立つ農村

説論

▼

国際間に於ける平和共存への動きや国内の金融引締め等に伴なってこゝ一、二年の間に農村の経済は極度に詰って来た。竜丘の命の綱である生糸も一九万円を割り毎日下落の線を辿っているし、二千石を生産する牛乳も昨年の四九円から四三円に落着いてしまう。その他の農産物にしても同じ結果である。

これに比して生産必需品や再生産に必要とする肥料、飼料、農機具は、一向に下らず百姓の表情は日一日と暗くなる一方である。税金にしても政府の打ち出した減税の恩恵にあずかるかどうか、今年は三十数名の（竜丘）新所得税納税者が出た始末だ。

誰がどう見てもこれからの百姓の前途に希望は愚か明日の生活に困ってしまう。

こおした現状の中で百姓がもたついているのは一体どうしたのだろうかの五号台風の御蔭で土方仕事に出、一時を忍んで気を紛わしているのであってはならない。私達は一刻も早く楽しい豊かな生活の出来る場を造らなければならないいくら待てど棚からボタモチは落ちてこない。競争の激しくなって来た現在、かって豊かな村竜丘と云われたこの地域が貧乏の村にならぬ間に打つ手は打つべきだ。

▼

一方時代の要求に従って中央道、飯田下呂線の建設計画、着工している一貫水路や豊飯国道の開設も間近にせまり伊那谷も近代文化の陽を見る日も十年先の話しではなくなった。これが出来上って〝それ〟では正に敗北である。幸に新農村建設計画の枠に竜丘も入ることが出来た。これを機会に新しい農村の姿を打ち立てなければならない。

▼

私達は個人でくよ〳〵考え、人の失敗を望む様な百姓根性を早く捨て、百姓が百姓と互に手をとり、団結し、みんなの力、組織の力で自分達の農業を組合的な見地に立って築き上げて行かなければならない。あれもやろう、これもやろうと、それぞれの機関に於て計画してみても、対象になるのは、百姓個人であって、どうして良いのかわからなくなってしまうし、とても出来るものではない。大道見地に立って正しい将来の見通しだけは確立し、間違えずに一歩ずつ前進するために基礎的なものから重点的にとりかゝる事と、指導機関に於ける指導の一元化が重要であり、新しい世代を背負う青年の目覚めこそ大切だ。この頃、各団体に於て行われる話し合いや読書会の中から出た私達の望みが更にアピールして常会から部落へ、部落から全体へと私達の手で新しい農村を築き、支えて行く原動力を生み出したい。（Y）

× × ×

短信

▼座光寺

◎去る三月八、九の二日間松本市で行われた第六回長野県公民館大会に、本地区からは青壮婦の三団体より各二名づつ出席した。これは今後の公民館活動の研究資料を得るのがその目的である。

◎去る二月より座光寺地区内を対象に婦人会の協力により子宮ガン早期発見の検診が鋤柄市保健衛生課保健指導医師により進められているが健康と思われる人でも検診してみると五〇%以上が何らかの病気をもっていることがわかった健康な人は勿論、みんなから大変喜ばれている。

▼山本

かねてより有線放送設置計画について研究中であったが三月七日その目的加入者数の八〇%に達したのでいよ〳〵今春完成を目ざして放送施設を設置することになった。

▼伊賀良

◎二月九日逝去された代田収一画伯の遺作品一万余点が公民館へ贈られた。

◎婦人会では三月十九日、丸山菊枝女史を講師に招いて班長以上の研修会を行った。

▼飯田

成年式終了者の仲間づくりが始った。現在約五十名

▲松尾

◎有線放送推進委員会が出来三月一杯に申込をまとめ五月末までに設置する予定。

◎竜西中部地域農村振興計画に基いて新農村建設五ケ年計画の策定が進められている。

▼龍丘

◎恒例の時又の初午祭りが三月二十九日、三十日の両日長石寺にて盛大に催される。両日共、家内安全祈祷、農蚕、豊作祈祷が行われる。境内では、弓道大会、演芸大会が備される。演芸大会は東京芸能名人大会、青年の舞踊等多彩なプログラムが組まれている。尚当日は三万人位の人出があるだろうと予想されている。

有線放送の規約が出来る
番組は小委員会で

去る二月十五日農協会議室に於て農協役員、回線責任者会に於て、竜丘農協有部放送部規約が審議され次のように決った。

運営の面について抜萃すると、委員は農協役員及び回線責任者を以って組織し、総会は総代制により運営委員を以って之に当て、規約の改廃、事業報告及び収支決算、会費の賦課及び徴収方法、役員の選任及び解任、その他重要事項を毎年一回開催し議決される。

又放送番組の編成及びそれに附随する事項、其の他此々明なる事項の審議決定については、運営委員より、理事、回線責任者、監事代表及び他に若干名部長が委嘱した方により、小委員会を置き、決める事になっている。

尚第一回小委員会は去る三月十八日開催され、四月よりの新放送番組について審議された。

第二次工事始る

今度地区内の強い希望により新規加入希望を取まとめた結果、時又除外区域の方々の加入希望が多く地域拡張許可申請を電波管理局へ提出し増設工事を行う事に運営委員会で決議され、十回線交換機を拡増し時又に三回線、駄科に二回線それぞれ増回し地区内一回線平均二十戸前後となる。新規加入者は百名近くで四月初めより開通の予定である。

又近地区の伊賀良、下久堅、近く工事着工予定の山本、松尾各有線放送協会との接続を行い将来は連合有線放送協会を研究している。

市の観光五ケ年計画
整備なる鈴岡公園

市商工観光課では三十三年度に観光開発五ケ年計画をたて、全市の観光化を計画し、推しすゝめることになった。内容をみると、市内の公園予定地である、城山、扇町、水神、八幡、元善光寺、山本地区城山、鈴岡公園など、今まで個々バラバラにに施設整備していたものを一本化して、新たに整備していくほか、新たに適地を見出して公園化を図り、またキャンプ地やスキー場の新設や、最終年度には、風越山ケーブル設置や、南ア、中アの観光道路開設や、二市三郡で、とりあげられた富士見台、大平、駒ケ岳の中ア縦貫コースの開発などを、含めていく方針で、情勢が許せば人工温泉、観光ホテルの建設などにも、手を延していくことになっている。この年次計画は、三十三年度内に立案し初年度事業として、市内の観光図を、先般作製した航空写真によって、作製することにきまったが同課では外廓団体である、飯田観光協会の意見もきくことになっているが、これが実現すれば、名実共に観光飯田として、大きくクローズアップされることになる。

「蛍の光窓の雪」長い学校生活から別れを告げ社会の一員となる、希望の理想郷それが社会であり、大人達の世界である。学生服をきていた当時からみた大人の社会は楽しい希望の世界に見えるのは不思議だとさえ考える。一日も早く大人になり、大人の扱がされてみたい。▼学生服から背広に着替え、照臭い乍も大人の気分が体中に動き出し、事の善悪の判断なく大人達のやる事に全面的なあこがれが不自然な形で現れる。

▼だが一旦社会に出てみて、そくざに大人の扱がされない。時に意見も「若ぞう何を云う、そんな理想論で世の中が渡れるか、思う様に行けば苦労はせん」と皮肉な笑と口調で問題にされないのが多い世の中がそうなら一家庭に於ても同様である。▼毎日〳〵親の修身講義、親にしてみれば自分のあゆんだ苦難の道が親から子に聞かせる親の修身課目である。

▼しかし親の修身教育にもおそらく時代のずれがある。特に農家等、やむなく家事を相続する為に子の進学や就職を思い切らせるのが多いのが現実であろう。時代のずれと、年寄りと若い者の考えの相違いつ迄たっても親の指図によって毎日の仕事、まさにあきらめの生活のあけくれだろう。活気のない希望のない生活に若い者が満足するはずはない。▼親の修身教育も自分であゆんだ二宮尊徳論の教育の良し悪の判断と、時代の流れと子供の希望する条件をふくめ、働きがいの出て来る為に仕事に責任のある大人としての扱をしたならば、ひがみや、あきらめは消えるであろう。

農村の古さを破る
楽しい話し合い

● 自分の云おうと思っていることを何もむずかしく考えずにそのまゝ気楽に話し、他の人の話も良く聞いて嬉しい事は分ち合い、苦しい事は助け合って、明るい住み良い社会を作ろうと、「話し合い」が盛んになって来た。然し日が浅い為研究の余地は大いにあるだろう。特定の人がしゃべるのではなく皆が同じ様にしゃべってこそ効果はあがるだろう。こゝに二月二三日に桐林分館主催で青年、婦人を対象にして話し合いが開かれたのを紹介しよう。 ●

作りたい嫁のグループ

当夜は助言者として木下右二氏橋本文進氏が出席され、会に先だって「実験教室」「一人の母の記録」を見て、そして一人の母の記録を中心にして身近な問題について話し合いが進められた。

○この映画に感じた事について

少し極端なところもあるが農村の母の姿が描かれている。母の過重労働については母となれば毎日の労働も苦なしに出来る、又母の気持が観念的になっている、と云う意見も多いが反面これで良いと思ってはいなく何んとか仕様と云う気持を。

農家の主婦は家事、洗濯が余分となっているがこれも仕事の中に入れて皆で分担してやり、そして明日の仕事の為に充分の休養をとりたい、これには現在の農村の状態を変えなければならない、今迄は農家の人達はいそがしく仕事に追われすぎてこれらの問題について疑問が起きなかったのではないかこの様な問題は人まかせでは出来ないから自分達（家の中）で解決しよう、然し個人〳〵では駄目であるから皆で話し合って協力して解決をして行きたい。と語っている。

○姑と嫁の問題について

現在は少なくなって来たがまだまだ自分の思っていることも云えない様な嫁も多い様だ。この様な嫁は外に出て同じ様な立場の人とは内訳話しもするが、家に帰れば又元通りになる人が多い何故自分の思っていることも云えないかと云えば姑に対する気がねと嫁とはこの様なものだと思っているのではなかろうか。これに対し或る青年は、嫁は何の気がねもなしに自分で思ったことを云い行う様につとめるべきだ、と云ったのに対し、嫁の立場の人は、古いカラを破ろうと思うがなかなか出来ない、と述べたことが印象的であった。結局嫁も姑も両者共に何の気がねなしに話し合って相互の考えを理解する様に務めることが大切だ、それで家の中も明るく楽しくなる然し話し合いの中心になる婦人会には若い嫁は出席することが少いこれら若い嫁の為に出る機会も多くし又グループ等を作る様に主人の理解も必要だと思う。又婦人は特に（男もするが）人のうわさ話し等をするが、これは農村の人達の頭の中が暇すぎるからではなかろうか。会、グループ等の話しの関心の的をもっと違った点に持って行く様に心掛けたいと思う。

以上が当夜の主な話しであるが、一婦人は、この様な会には始めて出席したが非常に自分にプラスになったから今後もこの様な会を開いて欲しい。又一青年は、青年と婦人の力は大きいから今後も機会あるごとに話し合いを行いたい、そして一人でも多く出る様にしたいと語った。

一人でも多く出席を

区公民館主催なので各方面の方々が集りましたので各方面から盛な意見が出て本当に良かったと思いました。限られたグループの話合いになりますと意見の違いが少いので皆自分の様な考えを持って居るから自他共にこれで良いのだと云う結論になります。然し各方面の方々の御意見も聞い又自分の意見も聞いて戴きますと人間相互の誤解も疑いもなくなり美しい人間関係を持つことが出来ると思います。兎に角こうした会合には老若男女をとわず一人でも多く出席して戴いて私達が住んで居ます此の社会をより美しい住み良い社会にする様一人一人の努力が必要と思います。

桐林婦人支長会　伊坪よし

「多くの人と話し合え」

同じ年令、同じ階層の人の話し合いでなく、性、年令を異にした人々が話し合う機会は、大切なものだと思います。現代は年令の開きにしたがって、その考え方の違いも又大きい。互の異った考え方を理解する一つの機会は、今度のような話し合いの中にこそ見出し得るものであると思います。又私達は巾の広い老え方をもちたい、いろんな角度からものを見る目を養いたい、その為に、種々な機会に多くの人の話を聞き、又聞いていただいて近代人としての農村人となりたい。このような意味から、今度のような機会を皆で作り合って話し合ってゆきたいと思います。

桐林分館長　島村美文

グループ

● 竜丘地区には、有名無名大小種々なグループが活躍している。此の一年その幾つかを紹介するために此の欄を新設した。　編集部 ●

家族計画研究会
名の如く睦む会

計画出産により明るい家庭生活を築こうと云う目的のもとに、竜丘地区に「家族計画研究会」が発足したのは、昨年の七月九日。

自主的な、計画出産の様にして誕生した此の会を命名して「睦会」＝むつみ会＝とした。誕生して九ケ月、此の会も大分成長して来た現在竜丘地区には、会員が三一二名おり、四一八名の小グループに別れて、実質的には、三九グルーフが活動している。大世帯であるから組織も複雑である。小さい方の組織から云えば、グループの責任者を推進委員といい、委員が集って委員会をつくり、部落単位にして、その責任者を支部長と云う五つの支部長が集ったのを役員会とでも云うのだろうか、その長には地区の婦人会長を推選している地区の睦会は市の支部になっており、その長は市連婦会長になっているという。研究会と云う名前であるから、研究をすることが本命となっており、推進委員会は月一回行われ、グループは月一回以上の研究会をもっている。実地指導員としては地区の保健婦と助産婦がその任に当っている。具体的に研究の内容については保健婦さんは「人間の本筋と云うか、他のグループより人間関係が、深くなるのではないか。本当に深いものが感じられます。」と云い、助産婦のFさんは、「現在は、避妊と調節に重点を置いている様な具合ですが将来は、家族計画と云う名の通りもう少し巾の広いものにしたら、」といっている。又会合のもち方については「一部の人が妨害をするので——知った様な顔をしている人に失敗が多い——スライドによる方法が一番良いと思いますね。」と云う。睦会で特筆すべきことは、駄科に「夫婦会」＝めおと会＝と云って御主人も会員になって成果をあげているグループがあることだ。のみ込みが早く模範的だと云う。問題点は、「姑の理解器具と経済、会員相互の理解」などがあると、支部長のSさんは云う。「問題が問題だけに……」と良く云われるが、結婚後数十年間は世話になる睦会が、明るい性生活のために今努力しているのである。

（記者 G）

短歌

時又歌会

夕ぐるる軒空低く飛ぶ鳩を見つむる孫の瞳潤みをり

雪解けの雫光りて軒つたふ鶏舎にレグホン巣ごもりてをり

里の辺はうす日射しをり山の嶺(ね)は雪のふぶきて梢のみぞ見ゆ

丘の上に「殉国院」とあらわなる石碑の文字のいたく目にしむ

年古りし榎伐(き)られてわが家のみ墓明るくひと日光さす

放(はな)ちたる鶏は群れ立ち吹く風に小羽とばしつ菜畑に寄る

（十七人中より六人選）

好成績の愛児共済
二七〇万を突破

輝かしい農協婦の部落活動

竜丘農協婦人部では、全国の農民がお互に扶け合って不時の災害に備え不安のない家庭生活を築くために、又可愛い子供を愛情をもって育て、その将来を輝かしいものにするために毎日の生活を計画化して僅かな金を蓄積し、その目的を達成しようと云う合い言葉のもとに愛児共済加入運動を起し、一月より二月にかけて、本年度入学する児童及乳幼児を対象にして教育資金、結婚資金、独立資金を目的として部落の役員が自主的運動として足を運び二百七拾九口を勧誘した。一口最高十万、最低二万円で一番多いのが五万円である。尚予約が五〇万程あり、その結果は飯田、下伊那農協婦の一、二であり、パチンコ貯金と共に高く買われている。

完成した　安城集乳所

竜丘酪農組合に五つ目の集乳所が桐林安城前島秀夫氏の北側へ去る二月二十三日建設を完成した。竜丘酪農も年々発展の一路をたどり総数二百頭、搾乳牛百二十頭で年間生産量は二千石に達し、年間収入一千万円を突破した。今までの四つの集乳所では、集乳に支障をきたし、桐林下平と時又安城の組合員が集まり、総工費五万で、九尺×四間の近代的なものを造りその名も酪農にふさわしい安城集乳所とした。

二つの動向

龍丘　農協職員移動

三月末日をもって、左記の方々が転任、退職される。

転任
養蚕主任技術員　池田　清氏　泰阜南農業協同組合へ
畜産部　技術員　生島彦雄氏　山本農業協同組合へ

退職
養蚕部書記　宮井とし子氏
総務出納係　久保田よねほ氏
販売部書記　山口とし子氏
貯金部書記　林　輝子氏

尚後任、及び新任職員は次の通りであります。

養蚕部主任技術員　木下悦雄氏
畜産部　技術員　尾畑正美氏
新任職員　三村久子氏
〃　下平幸江氏
〃　下平澄氏子

中学卒業生　一一八名が巣立つ

九ケ年間の学務を終業した、一一八名の中学生が二十日晴れの免状を片手にそれ〴〵の途に巣立って行った。その行先は

就職	四七名	四〇%
進学	五九名	五〇%
飯田高校		一四名
飯田風越		一〇名
下伊那農業		八名
飯田長姫		九名
阿南高校		四名
阿智高校		一名
松本女専		一名
定時制		一二名
家事	一二名	一〇%

となっており、進学・就職ともに今年は好成績であった。

あの人この人

伸びよ健やかに

本人の名	父の名	性	部落
関島　俊一	文夫	男	駄科
前沢　節子	時夫	女	時又
井口　明美	増一	女	上川路
吉川　和枝	喜三	女	駄科
関島美佐子	稔	女	駄科
今村　裕子	豊	女	桐林
牧島　康	克夫	男	駄科
原　和子	勝	女	桐林
久保田顕正	俊文	男	時又
近藤　剛彦	決	男	駄科

御冥福を祈る

下平　い志	六四才	桐林
塚平　さだ	八〇才	上川路
小笠原つるよ	八〇才	桐林
下田　彦二	六五才	時又
小林　正彦	三九才	長野原
中島　よね	九六才	桐林

永遠に幸あれ

林　彦志 / 清水　房子	桐林へ 千代村より
上松　二郎 / 萩原しげ子	駄科へ 喬木村より
久保田　護 / 関島　尚子	駄科へ 鼎町より
牧内　いな / 土井　宗雄	上川路から 喬木村へ
関島　大二 / 大野すゞゑ	駄科へ 山本より
下平　栄一 / 武井　久子	駄科へ 毛賀より
原　郡雄 / 今村　利子	桐林から 川路村へ
小笠原　正 / 森本　玉恵	長野原から 東京都北多摩へ
加藤　太江 / 佐々木　明	駄科へ 喬木村から
中島　甲士 / 奥村　光子	長野原から 松川町より
大平　敏子 / 下沢　陽一	駄科から 生田村へ
下平寿喜子 / 平沢　澄人	駄科から 下久堅へ
久保田よ志ゑ / 菅沼　緑	駄科から 上飯田へ

随想リレー
春が来た!!　春が来た!!　61回

上川路　杉本金吾

有線放送と云うものは便利此の上もない ものと思い込んでいた、私に、夢にも思っていない不幸が来た、それは次回随想リレーを書いてくれとの電話であった、私は実のところうつたまげてしまった何故私の様な者にこの様な番口が来たかと不思議でならない、そう思った瞬間、心臓は空転を始め足はカカトが上り小刻みに激しく板の間を叩き、持っているはづの受話機は空気でも掴んでいる様な錯覚に陥入り完全に狼狽してしまった。THKが無かったならば随想リレーの依頼は来なかったであろうにと。

今年の冬は暖かった様な気がした人の話で暖冬異変とか暖冬平常とか云われていたが、近頃段々と暖冬平常形になって来たと思われる。私の部落では除雪区域を新に決め降雪の場合区域が明確になっていたが、幸か不幸か除雪する程の雪は一度も降らず拍子抜けの形であった。その反面冬期作物は徒長の作柄が心配になる、農閑期と云われる冬が割合暖い日が続けば家の中に立こもってばかりはいられない、さりとて目ぼしいものは何も無い、藁細工も御多分にもれず支度は立派に店開きをしたが今日に至るも一品も完成していないまさに開店休業である。

冬もどうやら姿を消し春になったのだが、なぜ冬期間の仕事が思う様に出来なかったのかと考える事がある、これには何か問題がありそうだ。一つには昼間が短い事、今一つは一年の休養期であると申して「おづく」の悪い事……。まあ何はともあれ陽気が良くなった事は幸である、長い間馴染んで来た、「ジンコ」「足袋」「炬燵」もそしてアクセサリーの「ホホかむり」もおさらばおさらば、温度計も摂氏二十度前後にでもなれば鍬持つ手も自然に力が抜け茫然と何処を眺めるともなしにたゝずんでいる様は私だけではありませぬまい。花だ団子だお酒だとドライな気分で暮し度いのは人情であるが、そうは問屋が卸さない。

農村経済も金融引締で一向はかばかしくなく、その上産物は過剰気味低価でなければ販売出来ず、昨秋の蔬菜ではないが暴産になってトラック一台持って行ったところなんと儲が三円であったと聞かされては手の施し様もない。又、生糸その他にしても同様お先真暗である、何はともあれ弱ったの連発である、第一良質な農産物を生産し有利な販路を開拓し、経済の安定を計からなければならぬと痛感させられる、幸にして竜丘も新農村建設地区に指定されたのだから計画実施に当っては内容を良く吟味し、そつのない経営を願わずにはいられない。

【次回のバトンを桐林下平一郎氏に】

御免なんしょ

× × ×

喜びも悲しみもすごい入場、会場をる移こと三度、校舎は汚れる物はなくなる。お客に叱鳴られるアア喜びも悲しみも主催者はどこだ。

—映画愛好生より—

× × ×

すい分聞いた公約の内で水道のことが頭に残っている。！浄水道の設置につきましては何と申しましても水利権の問題がありまして！公約は水道の水の如く消えるものナリ、もう待てマセン——簡易水道

編集後記

▼桜が咲いた。猫が恋愛をしている。部員は全く悩ましい。▼次号は四月十日の原稿締切りとします。四頁の計画ですから、投稿を期待します。▼館報に対する批判をおきかせ下さい。